

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高2	保健体育	保健	現代高等保健体育	なし

1. 授業のねらい

保健の授業は、人間と「健康」の関わりをテーマとして展開されます。高校生の時期は、急激なからだの成長と、めざましい精神的成熟のさなかにあり、将来を見すえて、たくましく前進しようとするときである反面、新たにふみだそうとする大人の世界の不明確性に深い不安と動揺をおぼえ、きわめて複雑な心境に揺れ動いています。こうした揺れ動く状況のなかで、私たちは自分自身の成長・発達をしっかりと受け止め、さまざまな課題に対処していく必要があります。私たちは一人ひとりが「たった一回かぎりの貴重な人生を今生きているのだ」という厳粛な事実を明確に自覚し、自分や他の人の生命と生活を心から尊重して、それぞれの幸せを協力して実現しようとする態度を身につけていかなければなりません。「保健体育」の授業を通じて、これらの課題に対して積極的に取り組めるよう、健康的な生活を明るく前向きに展開すること、生涯を通じて充実した人生が送れるよう、よく考え賢明に行動することを身につけてもらいたいと思います。

そのためには、まず健康で活力あふれるからだをつくり、体力や運動技術のすこやかな向上を常に心がけていく必要があります。

2. 授業のすすめ方

- (1) 教科書とタブレット端末を使って、実際の生活に置き換えて健康について考えながら授業をすすめます。
- (2) 単元により、個人での調べ学習またはグループディスカッションをし、それをもとにプレゼンテーションを行います。
- (3) それぞれの生活観や健康観の違いがあるでしょうが、お互いに「生活の質 (Quality of Life)」が高められるように、意見交換しながら授業をすすめます。

3. 学習上の留意点

タブレット端末に配信された資料を参考にしてください。書き込みについては後から見直して理解できるように、色分けをしたり、先生の説明を書き入れる等の工夫をしてください。提出資料については担当教諭の指示に従って、指定の場所に提出をしてください。

タブレット端末の管理を徹底してください。また、授業で配信された画像・動画などの流用、検索時の不正アクセスなどを絶対にしないでください。

4. 副教材・参考文献

○なし

5. 評価方法

- (1) 定期考査3回（各学期末100点×3）・平常点（1学期20点+2学期20点+3学期10点）
- (2) 平常点は授業中の態度・課題の提出状況等を中心に評価します。
- (3) 定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 定期考査

- (1) 各学期末に定期考査を行います。
- (2) 出題内容は、教科書、授業での板書や配布物（参考資料）から出題します。
- (3) 授業中の説明や事例を自分に置き換えて、授業に取り組んでください。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	【3単元 生涯を通じる健康】 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康	授業への取り組み 提出資料 1 学期期末考査	・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・男性と女性の生殖器の発達と性機能について理解する。 ・性意識の男女差について説明できる。 ・性周期、妊娠・出産について理解する。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。 ・心身の発達と結婚生活について理解する。 ・加齢こともなう心身の変化について理解する。
	五月			
	六月			
	七月			
	八月			
	九月			
	十月			
二 学 期	九月	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 【4単元 健康を支える環境づくり】 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁, 土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備	授業への取り組み 提出資料 2 学期学期末考査	・働くことの意義と健康とのかわりについて理解する。 ・労働災害の種類とその原因について理解する。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解する。 ・大気汚染発生の状況と健康被害を理解する。 ・水質汚濁発生の状況と健康被害を理解する。 ・土壌汚染発生の状況と健康被害を理解する。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法を理解する。 ・ごみ処理と上下水道の整備の仕組みと働きを知り、問題点や対策を理解する。
	十月			
	十一月			
	十二月			
	一月			
三 学 期	一月	5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加	授業への取り組み 提出資料 3 学期学期末考査	・食品が及ぼす健康被害と安全な食品について理解する。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解する。 ・保健行政の役割について理解する。 ・わが国における医療保険のしくみについて理解する。 ・医薬品の正しい使用法について理解する。 ・国際機関・民間機関などの保健活動について理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。
	二月			
	三月			
	四月			
	五月			

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。